

会 議 録

名 称	令和7年度第2回坂戸市文化財保護審議会
開催日時	令和8年1月29日(木) 午後2時00分開会・午後4時00分閉会
開催場所	北坂戸地域交流センター 1階 集会室
出席者の氏名	林 信行 委員長 青木 美智子 副委員長 横手 忠 委員 斉藤 修平 委員 荒井 晴夫 委員 水村 義篤 委員 石井 龍太 委員 栗岡 潤 委員 8名出席
欠席者の氏名	須田 富男 委員 大塚 教雄 委員 2名欠席
事務局職員の職・氏名	坂戸市教育委員会 教育長 太田 正久 坂戸市教育委員会 教育部長 三田 耕治 坂戸市教育委員会 社会教育課長 菅野 規之 社会教育課 課長補佐 神 亜未子 社会教育課 文化財保護係 係長 町田 貴裕 社会教育課 文化財保護係 主事補 林 卓美 歴史民俗資料館 課長補佐 井上 聡 歴史民俗資料館 主任 渡辺 慎也
会議次第	(委嘱状交付) 1 開会 2 あいさつ 3 審議事項 4 協議事項 5 その他 6 閉会
配布資料	1 令和7年度 第2回坂戸市文化財保護審議会 会議次第 2 坂戸市文化財保護審議会委員名簿 3 席次表 4 審議資料1-1 令和8年度坂戸市指定文化財補助金等(追加分)について 審議資料1-2 森戸獅子舞保存会 指定文化財保存(修理)事業計画書 審議資料1-3 赤尾囃子連 指定文化財保存(修理)事業計画書

	審議資料 1 - 4	横沼囃子連 指定文化財保存(修理)事業計画書
5	参考資料 1 参考資料 2	指定文化財保存事業費補助金交付基準 文化財保存事業費補助金交付要綱
6	協議資料 1	坂戸市立歴史民俗資料館基本構想・基本 計画(案)
7	追加資料	横沼新ばやし 屋台小屋軒天劣化部現況
8		埼玉文化財だより
9		令和7年度文化財レスキュー・防災研修会・開催要項

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容
司会(事務局)	1 開 会
委員長 教育長	2 あいさつ 委員長あいさつ 教育長あいさつ
進行: 司会	※坂戸市文化財保護審議会に関する規則第6条第3項の規定により、林委員長が議長となる。
林委員長	3 審議事項 ・諮問書を、太田教育長から林委員長へ手交。 (保護条例第4条第1項、及び審議会規則第3条により) ・諮問「令和8年度坂戸市指定文化財補助金等(追加分)について」
	(1) 令和8年度坂戸市指定文化財補助金等(追加分)について (資料に沿って説明)
事務局	ただいまの説明に対し、意見があるか問う。
委員	他の保存団体の山車小屋の状態はすべて調査をしているのか。

事務局	昨年度に別団体の山車小屋の扉修繕があったため、その団体は把握しているが、全て調査はしていない。次の協議会等で確認を取らせていただく。
委員	今回のように山車小屋を修繕すると、連鎖的に他の団体から補助の要請が来るケースがある。調査を前もって行い、修繕が必要になりうる団体への準備をしておく必要があると思われる。
事務局	承知した。赤尾囃子連では今まで個人宅に山車を預けていた状況であり、代わりで個人宅に置けなくなってしまった。このままだと山車の保管場所がなくなってしまい、囃子連自体の存続にも影響があるため、特例的に申請を受理したという経緯である。
委員	今の質問と関連して、赤尾囃子連だけが山車小屋を所有していなかったのか。その点も確認しておく必要があるのではないか。
事務局	昨年度の坂戸のまつりで確認させていただいており、他団体は山車小屋を所有している。赤尾囃子連のみ山車を個人宅に収蔵しており、今回囃子連として山車小屋を持つようにしたいと要望があった。
委員	八坂神社内での所有とあるが、許可はもらっているのか。
事務局	神社側の許可は頂いており、八坂神社にある赤尾地区集会所付近で調整を進めていると伺っている。
委員	坂戸市の重要な文化財を地元の方が自己負担で守っているので、このような措置は非常に良いと思う。
委員	お囃子と山車の両方を文化財指定している他市町村では、修繕費用の補助によって財政が回らなくなる事例があった。留意いただきたい。
事務局	意見として参考にさせていただく。
委員長	赤尾囃子連では以前から個人の方に山車を預けており、度々囃

	<p>子連で所有する話は上がっていたが立ち消えになってしまっていた。この山車は個人で制作されたものであり、過去に社会教育課で各団体の山車を調査されていたこともあった。</p>
委員	<p>笛の写真について、どこが修理部分なのか。</p>
事務局	<p>一番下の笛は左側の留め具が外れてしまっており、その他の笛も留め具がゆるんでしまっている。また、下から二番目の笛にはひび割れが見られる。</p>
委員長	<p>以上の意見を踏まえ、「令和8年度坂戸市指定文化財補助金等（追加分）について」は、適切であると考えているが、いかがか。</p> <p>（異議なし）</p> <p>「令和8年度坂戸市指定文化財補助金等（追加分）について」は、適切であると決定する。</p>
事務局	<p>6 協議事項 (1) 坂戸市立歴史民俗資料館基本構想・基本計画（案）について</p> <p>（資料に沿って、説明）</p>
委員長	<p>ただいまの説明に対し、意見があるか問う。</p>
委員	<p>前回出たアイデアや意見について、事務局で検討した結果を伺おうと思ったが、そのような話が全然無かった。これでは前回協議した意味が損なわれているのではないか。</p>
事務局	<p>前回意見としていただいたエレベーター設置について、建物内か外のどちらに設置するかは専門の部署に確認をしている所である。</p> <p>また、事務室を2階にし、1階に展示室を集約させた方が良いという意見については、新資料館が公園内の施設であるという点を考慮して、窓口等の利便性や防犯上の理由から、事務室は1階に設置したいと考えている。</p> <p>機運醸成が重要であるという意見については、前回と今回でい</p>

	<p>ただいた案を市長に提出するとともに、来年度以降の公園整備に合わせてさらに周知していきたいと考えている。</p> <p>窓の設置については展示室の明るさを考慮しつつ、設計の段階で検討、準備を行う予定である。</p> <p>学習室の配置については意見を参考に、2階の配置も検討していく。</p> <p>その他施設の構造と管理については、現在消防、建築、施設管理の関係者とそれぞれ協議している。</p> <p>本日配布した文化財だよりに記載のある新座市の資料館を先日視察した。そこでは保健センターと併設になっており、展示用のデジタルサイネージを設置している。従来の張り紙での方法だと歴史の変化に合わせてられず、誤字脱字も多くみられる。デジタルサイネージであれば修正の手間が省けてスペースも取らないため、高価であるが設置を考えている。</p> <p>また、実物に触れられる資料館にしたいという学芸員の意見があった。今年度の出土品展では、土器に触れる機会があつてとても楽しそうであったというアンケートを来客者よりいただいている。坂戸市の文化財は坂戸市で管理できるよう設備を整えるべきという前回の意見をもとに、保存管理機能を備えた展示ケースの設置も考えているが、わざとケースを設けず子供たちが触れる展示スペースも作りたいと考えている。</p>
委員	<p>資料を拝見した時に、前回の案と何も変化がないことに驚いてしまった。前回の審議会では資料館としてどのような施設にしていくべきなのか話し合ってきた。ところが、今回の審議会です突如公園や他部署との関わりといった情報が出てきた。前回の審議会では全体像が見えない中で、一体何を話していたのかと感じてしまう。前回、部屋の配置について高齢者や障害者の安全を前提に、様々な方が見られるよう展示室を1階に集約すべきだと意見した。より多くの方に見ていただくという観点から、他の委員もこのような意見を述べたと思う。それにもかかわらず1階に学習室を設けているなど、前回と全然変わらない配置を提出されたため非常に残念に思う。他にも具体的な意見はあるが、まずはその点を考えていただきたい。</p>
事務局	<p>仰るとおりで、展示室の配置については引続き検討していく。ただ、公園内にある点や配置を考えると、やはり1階に事務局を設けるのが現実的であると考えている。一方で、学習室に関</p>

委員	<p>しては1階でなければいけないという理由は、特段ないと考えている。今後もしっかり検討させていただく。</p> <p>資料館に公園の管理機能を設けるのか。もし設けるとすると教育委員会のみのお話ではなくなってしまうのではないかと。というのも私が他の自治体の博物館計画に携わっていた時、初めは文化財担当課による計画であった。ところが首長の一言によって文化財担当課のみのお話ではなくなってしまった。公園担当課による公園緑地の管理機能を博物館の事務室に置くことになり、現在その公園は史跡公園として、公園担当課も関わっている。今回の資料館も同様のケースになりかねないのではないかと。</p>
事務局	現時点では未定であるが、参考にさせていただく。
委員	添付書類にある配置図のグレーになっている所は利用できる部屋なのか。
事務局	部屋がないスペースになっている。前回白色で表示していたが部屋があるように見えてしまったためこのように色を塗っている。
委員	<p>この図面はまだ案の段階だと思うが、この交流センターは学習施設として建てられたため、展示施設に転用するには広い部屋が少ない。その点計画にはかなり苦労していると思われる。また、坂戸市には原始から古代にかけて非常に良い出土品があり、それに対する調査研究が大変よくされていると思う。ただ、市民目線で考えると、原始～古代よりも中世～近代など、現在につながる身近な時代を中心にした展示を行っていただきたい。この図面を見るに、中世～近代が一番狭い部屋に展示する予定であるようだ。古文書の解読により中世～近代の出来事が判明してきており、神社仏閣などの文化財も多く残っている。入西石塚古墳や岩口遺跡4区の出土遺物といった指定文化財が多いので、古代が充実しているのはわかる。しかし、開館までまだ5年あるため、ぜひ歴史全体の展示を検討していただきたい。</p> <p>また、坂戸の偉人である鈴木嘉幸の作品は、海外にも展示されている大変貴重なものであるが、小学校にも作品が残っており、管理に困っていたようだ。今の資料館では引き受けられな</p>

事務局	<p>いと思うが、次の資料館ではぜひ引き受け、展示をしてもらいたい。</p> <p>古文書については、見下し文や解読内容を市民に報告できるようにしてほしい。その際、解読を職員が行うのか、市民の方に依頼するのかを考える必要があると思う。また、古文書のデータ化もしていただきたい。</p> <p>この展示室の配置はあくまで案であるが、坂戸市の強みが古代であるため、このような配置にさせていただいている。この点については、意見を踏まえ再度検討させていただく。また、今までの資料館で預かれなかったものを少しでも預けられるようにし、展示していきたいと考えている。古文書の関係については、解読できる方がいればぜひ御紹介していただきたい。意見にあったように、市民の方々と一緒に古文書を読めるよう、学習室を活用していきたいと考えている。</p>
委員	<p>他自治体では、教育委員会主催の古文書教室がある。ぜひ、坂戸市でも初心者に向けた教室などを開催していただきたい。また、資料館開設まで期間が長いので、古文書を読める学芸員もぜひ採用してもらいたい。</p>
委員	<p>私や委員長は勝呂小学校を卒業しており、旧校舎にはたくさんの思い出がある。現資料館である勝呂小旧校舎はぜひ残していただきたい。</p>
事務局	<p>保存していくよう努めていく。</p>
委員	<p>資料にある講堂棟 1 階の収蔵スペースには、パレットラックを設置すると記載がある。これはフォークリフトを利用する想定なのか。私の勤務する所では物流倉庫のような収蔵庫になっており、どこに何が入っているのかすべてデータで把握し、フォークリフトで収納を行っている。また、旧川本町（現深谷市）でも、同様のシステムになっている。</p>
事務局	<p>フォークリフトを利用する予定はない。階段付きのラックを設けるようにし、重いものと軽いものを仕分けて収納する予定である。また、現在の講堂棟では資料の荷重に耐えられないため、床や壁の補強工事を行う予定である。今の収蔵庫が満杯で収納</p>

委員	<p>する場所がないため、皆様の知恵をいただきながら新資料館収蔵庫の収納方法や構造等を考えていきたい。</p> <p>考古資料は箱の中にしまっておけば保存に問題はないが、古文書は桐の箱に入れて温湿度の管理を徹底しなければならず、資料のすみ分けが大変だと思う。また、先ほど出土品を子供たちに触れさせる展示ブースを設けるとあったが、2 mくらいのスペースが必要になる。旧石器～平安をテーマに展示するとなると10 m以上のスペースを必要とする。さらに、古文書や刀は1つのケースに囲まれた空間での展示になり、これもスペースを取る。加えて、掛け軸を展示する場合は部屋の高さが足りないと思う。展示スペースについては半分ほどに減らせる工夫もあると思われる。</p>
委員	<p>今回の審議会は、文化財保護の認定や助成について妥当かどうかを協議する一方で、博物館協議会のような性格も併せ持っていると思う。先ほどあった、前回の意見が反映されていないという点では、議事録を取って意見に対しどのように対応するのかはっきり発表しておけば防げたと思う。そのため、会議の進行の在り方を今一度検討する必要がある。できない事も無論あると思われるし、一つ一つの意見に対応するのは大変だと思う。しかし、様々な要望をうまくまとめないと議論が上滑りになってしまうため、学芸員の負担を考慮しながら検討をしていただきたい。</p>
委員	<p>私個人としては、一人の市民として意見を述べており、市民の意見を想定して対策を講じていかないと大変になるのは事務局であると思う。エレベーターを設けるとランニングコストがかかるため展示どころではなくなると前回の意見があったが、それに対し、何かしらの検討をしているのか。エレベーターの設置自体に検討の余地があるため、何か質問があったときに答えられるように事務局として意見を持っている必要があると考える。</p>
事務局	<p>まず、エレベーターについて、バリアフリー法関係を現在確認中である。エレベーターをつけない場合は、階段昇降機を検討している。お金はかかるが専門の方と協議し、エレベーターをつけるか階段昇降機をつけるかを考えていく。また、展示ケー</p>

	<p>スについては、温湿度管理ができるケースだと高額となるため、予算を鑑みて優先順位を定め購入していく。また、会議の在り方については仰っていただいた通りであるため、次回以降対応させていただく。</p>
委員	<p>坂戸の歴史の変遷について、1つの部屋で完結するような展示をしてほしい。展示室の広さが歴史に対するイメージに直接つながっていくので考えていただきたい。また、坂戸の偉人に関する事業について、以前中島歌子資料集を発行していたと思うが、それ以降は特に発行をしていないと思われる。一般市民のほとんどが坂戸の偉人について知らないなので、これについても展示してほしい。</p>
事務局	<p>検討させていただく。なお、実物の展示だけでなく、デジタルサイネージや写真の展示を行ってスペースを広く取るようにしていくつもりである。学芸員の意見も取り入れながら、市として何を展示していくか考えていく。</p>
委員	<p>ロビーと集会室をつなげて広くスペースをとれるようにする工事は可能か。また、歴史を伝えるには物語が必要だと考えており、何をメインに見てもらうべきか軸を設ければ展示場所の展望も見えてくるのではないか。文化財日よりでは坂戸について「道」という物語でコンパクトにまとめられており、良い参考になるとと思われる。「坂戸の歴史」にも非常に参考になるところがあり、文化財を中心に8ページでまとめられている。これらを参考に展示場所と内容を物語に沿って計画するべきと感じている。</p>
事務局	<p>物語を考えながら展示物について考えていくよう進めさせていただく。また、工事については建築の部門と協議しているため、耐震性が前提となるが展示の観点についても話を進めさせていただく。</p>
委員	<p>展示スペースが狭いので、どの時代を展示するのはバランスをとっていければ良いと思う。ちなみに、もし事務室を2階にすると受付も2階になるのか。</p>
事務局	<p>そのようになる。</p>

委員	2階での受付はあまり聞いたことが無いので、来訪者目線から1階の受付のほうが良いと考える。また、学習室と事務室を近くにするなど、裏方の利便性を考慮されていないと後々大変な事になると思う。学習室ではどのような利用を想定しているのか。
事務局	学習室では机や黒板を用意し、講師を招いて子供たちへの学習講座を設けるようなイメージである。
委員	先ほど会議の在り方について話されていたが、どのような方針で部屋を使うのかをもう少し具体化しているほうが良いと思われる。デジタルサイネージについても壊れた時の対応なども考えておくべきである。
事務局	そのようにさせていただく。
委員	交流センターでは学習室のほとんどが2, 3階にある。そのため、学習室を1階に設けるのではなく展示スペースとするほうが良いと考える。一方で、事務室が玄関近くにあるのはやむを得ないと考える。
事務局	承知した。学習室の場所については意見をもとに再度検討させていただく。その他本日頂いた様々な意見についても参考にさせていただく。そこで取り入れられなかった意見については次回で理由を含め説明させていただく。
委員長	今まで文化会館で行っていた出土品展はここでできるようになるのか。
事務局	文化会館の展示スペースが広いため、現時点ではそちらを使う予定であるが、仰る通り新資料館での展示も可能であると思われる。
委員	文化会館での出土品展は学芸員の負担も大きいので、新たな北坂戸地域交流センターでの展示もできると思われる。その場合、今までのような形では展示ができないと思うので場所や規模について考える必要があると思われる。

委員長	5 その他
事務局	(1)令和7年度文化財レスキュー・防災研修会 開催要項周知 (2)令和7年度坂戸市文化団体連合会企画講演会 (資料に沿って、2点を一括説明)
委員長	・答申「令和8年度坂戸市指定文化財補助金等(追加分)について」 (委員長から教育長へ答申書を手交する)
副委員長	7 閉会